

地域おこし協力隊田沢通信 6月号

令和 元年 6月15日発行

地域おこし協力隊って何ですか？

田沢地域にお住いの皆さま、近隣住民の皆さま、関係者の皆さま、いつも親切にいただきありがとうございます。
地域おこし協力隊は、2009年総務省で制度化され約10年になりました。2019年現在、全国合わせて約5300名の隊員が活動しています。地域おこし協力隊を簡単に説明すると、都会の人が移住しやすいように地域おこしの仕事ができる体制を地方が用意し、3年で隊員に定住の準備をしてもらうための制度です。

短い期間の中で、地域活動もしながら定住に向けて準備しています。残念ながら他県の例ではお手伝いに終り、ボランティアするだけで3年過ぎてしまったというケースもありました。これでは定住は難しいです。

何を伝えたいかと言うと、地域おこし協力隊は単なるボランティアではないということです。だからこそ地域の皆さまには、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

現在、酒田市地域おこし協力隊は八幡地域に2名、平田地域に2名の計4名がおり、平田地域おこし協力隊2名（能美智行隊員、霞本祐一朗隊員）は、田沢地域を拠点に活動しています。

能美隊員に聞きました

Q. 昨年は何を行っていたの？

田沢の美味しい野菜を地域外の人に食べてもらいたい。その思いで、キッチンカーで移動販売を行い、地域外向けに地元のおいしい野菜を PR 活動していました。酒田市役所前だけでなく、三川町、庄内町のイベントにも参加して、多くの方に地元の野菜を PR していました。

また、庄内にいる協力隊と連携して新スポーツを企画し、IROTORI×ドッジボールを開催しました。IROTORIとは、色水に浸かったボールでドッジボールをすることです。とてもシンプルですが、昔の遊びを懐かしんで、地元の若い人たちが多く参加されました。交流を深め今後、地域と一緒に盛り上げていこうと一丸となっています。

Q. 今後の活動予定を教えてください！

昨年に引き続き、地元の野菜を使った料理を地域外向けに提供していきます。先月は地域の方と一緒に三川町菜の花まつりに出店し、地元の野菜を使った料理で PR しました。

今後の予定は、田沢川ダムまつり、農林水産まつりを中心に参加して地元の野菜を PR したいと考えています。

また、霞本隊員と共に、地域の魅力を撮影し、情報発信していきます。

さらに現在、田沢オリジナルTシャツを作成しています。デザインを手掛けていますが完成次第、発表していきますのでよろしくお願いします！



庄内三大まつり / 酒田まつりに参加

令和元年5月20日（月）庄内三大まつりの一つである酒田まつりへ参加してきました。

全長1キロと長い縁日、20日の本祭りは、大獅子や仔獅子、傘鉾など約50台の山車はインパクトがあり非常に迫力があり見ごたえがありました。

平田の山車も参加しており、私も行列に参加させていただきましたが、残念ながら、諸般の事情で平田山車は今年度で見納めとなりました。寂しい気持ちもありますが、今までお疲れ様でした！！



■かすみもとコラム(編集後記に代えて)

6月初旬、新しく八幡地域に1人地域おこし協力隊員が加わり計4人となりました。平田地域を拠点とする能美智行隊員は3年目、私（霞本）も2年目の活動になります。それぞれが違う活動を行い、地域活性化のために日々取り組んでいます。

昨年度は、やまもと農村交流センターで庄内のお子さん向けに笹巻体験、キノコ植菌体験を行いました。体験施設だけでなく、子どもが楽しく遊べる場所を作りたいと考え、地域住民と一緒に山元農村公園を手作り公園にすることにしました。

伝統工芸である「あけびのつる細工」を地元の方と一緒にしています。地域住民同士で技の伝承を行い未来へと繋げることを目的とし、それぞれ作り上げた作品は、10月に行われる酒田農林水産まつりに展示する予定です。

地域住民の方々と一丸となり行っていますので、皆さまもどうか温かい見守りとご協力をお願いいたします。

平田地域おこし協力隊専用Facebook！！

「**酒田市平田地域おこし協力隊【田沢】**」で検索！！

QRコードはこちら⇨

